

ccTLDレジストリから見た IDN ccTLDと新gTLD

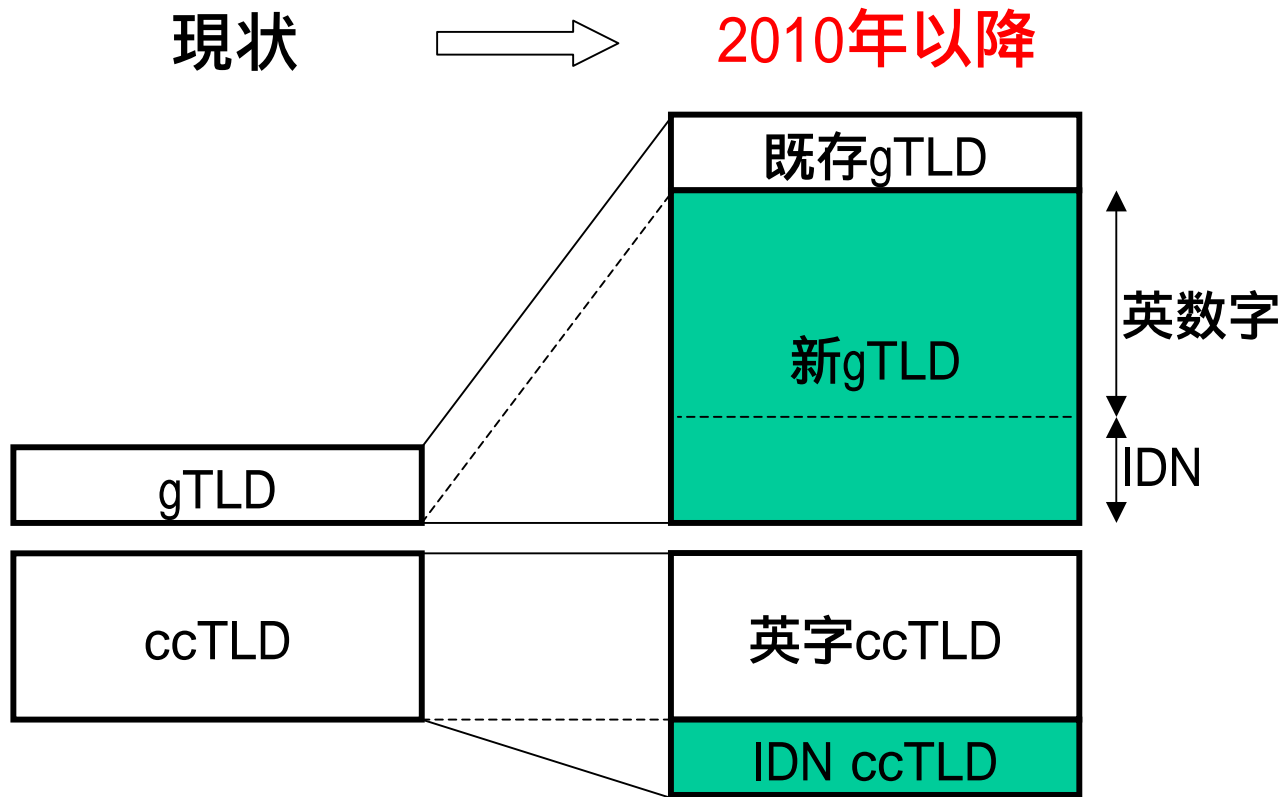
ICANN報告会

2009年4月2日

株式会社 日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 hotta@jprs.co.jp

新TLD導入



IDN : internationalized domain name (国際化ドメイン名: 英数字以外を含むドメイン名)

新TLD導入のプロセス3種

1. 新gTLD創設プロセス

- 新gTLD創設に関するICANN GNSO勧告 (2007年8月)
- 具体的な導入プロセスをICANN事務局が検討・ガイドブック公開・パブコメ中 (~2009年4月13日)

2. IDN ccTLD Fast Track

- 限定された個数の、問題ないIDN ccTLDを迅速に導入
- このための作業部会がICANN 理事会に導入方法を提案(2008年6月)
- 具体的な導入プロセスをICANN事務局が検討・実行計画案公開・パブコメ中 (~2009年4月6日)

3. IDN ccTLDの恒久的ポリシーに基づく創設プロセス

- 課題の洗い出し (2008年3月頭)
- 課題に対し解決策の検討開始 (2009年)
- 創設開始は数年後？

新TLD導入に向けた世界の検討状況(1/2)

- 新gTLD創設
 - ICANNにて創設プロセスを検討中
 - 2009年末までに提案募集開始、2010年から創設開始
 - 英字ドメイン名と国際化ドメイン名の両方が可能
 - 普通名詞、都市名、ブランド名、民族名などをTLD文字列にしたいという意思を持つ人が多く存在する
- IDN ccTLD Fast Track
 - ICANNにて創設プロセスを検討中
 - 2009年末までに提案募集開始、2010年から創設開始
 - ラテン文字(英字や、英字にアクセント等がついたもの)以外を使用
 - 国名もしくはその短縮形
 - これまでに、30カ国程度が創設の意思を示している
 - 「.日本」は、その候補の一つ

新TLD導入に向けた世界の検討状況(2/2)

- IDN ccTLDの恒久的ポリシーに基づく創設プロセス
 - 2009年2月末に作成されたイシューレポート案をベースにccNSO内にて議論開始
 - 2011年6月の理事会にポリシーを提案すべく、WG等で検討を開始

新gTLDに関する検討状況

検討中の主な課題

商標・地理的名称保護および消費者の混乱への対応

- TLDそのものがもたらす権利侵害、混乱
- セカンドレベルへのドメイン名登録時に生じる権利侵害、混乱

特に国
/ccTLDから
見て問題

gTLD増加とともに詐欺などの不正行為も増えるか

新gTLDへの本来の需要は何なのか

- 市場にどんな影響を与えるか

「新gTLDは3文字以上」という制限はIDNでは不合理

- 漢字等では、1～2文字で意味ある単語をなす

商業的TLDとコミュニティ用TLDで扱いを変えるべきか

- コミュニティ用TLD(たとえば少数民族用)は、早く導入し、ICANNへの支払いも少なくあるべき、という意見有り

ルートゾーンへのTLD追加がもたらす技術的な影響

- IDN、IPv6、DNSSEC(セキュリティ機能)の追加は問題ないのか

gTLD固有の
課題ではない

IDN ccTLD Fast Trackに関する検討状況

- 残課題
 - 各IDN ccTLDレジストリはICANNと何らかの契約を結ぶべきか
 - 各IDN ccTLDレジストリはICANNに一定の支払いを行なうべきか
 - 各IDN ccTLDレジストリとccNSOの関係はどうあるべきか
 - 既存TLDや新gTLDと申請されたIDN ccTLD文字列が一致/類似する場合、どう扱うべきか
 - (特に複数ccTLDが共有する)スクリプトをIDN Tableでどう扱うべきか
 - Fast Track実施後、Fast Track自体の評価をどう行なうべきか

地理的名称TLDに関するccNSO内の議論

- 提出予定コメントの内容
 - ISO3166-1にあるccに対応する国名/地域名の、任意言語、任意スク립トによる有意な表記は、ccTLDのプロセスを使って処理されるべき (その国/地域が承認/無反対を表明してもgTLDとはならない)
 - 上記の有意な表記には、正式名のみでなく、国名/地域名を意図した略記を含む
 - 都市名等は、gTLD申請者が地域名であるとの意図を持つ場合には、その地域(都市等)の承認/無反対の表明を必要とする